包括的に適用されているポリシーの判別

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[ポリシー適用の決定](#)

[追加情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrellaの設定に適用されているポリシーを判別する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

組織のUmbrella管理者として、特定のエンドポイントにどのポリシーが適用されているかを確認する必要がある場合があります。これは、新しいポリシーを導入する際のデバッグやテストに役立ちます。

ポリシー適用の決定

Umbrellaに適用されているポリシーを確認するには、次の手順を実行します。

1. 適用するポリシーを決定するクライアントマシンからデバッグ出力を収集します。デバッグ出力を収集するには、Windowsのコマンドプロンプト、またはOS Xのターミナルウィンドウから次のコマンドを実行します。

```
nslookup -q=txt debug.opendns.com
```

次のような出力が表示されます。

```
c:\>nslookup -q=txt debug.opendns.com
Server:  resolver1.opendns.com
Address:  208.67.222.222

Non-authoritative answer:
debug.opendns.com      text =
    "server 3.pao"
debug.opendns.com      text =
    "flags 20 0 47E4 D0000000000000041"
debug.opendns.com      text =
    "originid 23443359"
debug.opendns.com      text =
    "orgid 162145"
debug.opendns.com      text =
    "actype 0"
debug.opendns.com      text =
    "bundle 147229"
debug.opendns.com      text =
```

ここでの目的にとって重要な情報は、OrgIDとバンドルです。OrgIDは組織のダッシュボードの識別子で、バンドルはその組織内で適用されるポリシーの識別子です。

2. Umbrellaダッシュボードにログインし、ブラウザで新しいタブまたはウィンドウを開きます。

3. デバッグ出力から取得した2つの変数をこのURLに追加します。ここで、「<OrgID>」と「<Bundle-ID>」は次のとおりです。

```
https://dashboard.umbrella.com/o/<OrgID>/#/configuration/policy/<Bundle-ID>
```

これにより、デバッグ出力が実行されたコンピュータ（またはユーザ）に適用されたポリシーが、実行時に直接表示されます。

追加情報

詳細については、シスココミュニティの「Umbrella Learning:DNS Deployment and Policy Playlist」セクションにある「[Policy Troubleshooting video](#)」を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。